

平成30年第11回教育委員会議事録

開催日時 平成30年11月28日(水)
午前9時30分～午前10時58分

場所 教育委員会会議室

出席者 教 育 長 石 黒 貢
教育長職務代理者 加 藤 正 道
委 員 木 下 史 江
委 員 中 川 まどか
委 員 高 橋 洋 一

事務局出席者 教育総務部長 香 山 庸 子
学校教育部長 井 上 正 人
教育総務部副部長兼社会教育課長
井 上 隆 雄
学校教育部副部長兼学務課長
田 口 周 一
教育総務課長 関 根 宏 夫
文化財保護課長 岸 本 光 子
指導課長兼小中一貫教育推進室長
猪 原 誠 一
教育総務課庶務係主事 高 橋 仁 志
教育総務課庶務係主事 内 山 翔 太

○ 開会の言葉及びあいさつ 石黒教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 平成30年第10回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

議案第51号 [説明者 井上教育総務部副部長兼社会教育課長]

平成30年度八潮市一般会計補正予算案の提出について

教育に関する事務に係る部分の歳入歳出補正予算を八潮市長に要求することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、議決を求める。

平成30年11月28日提出

八潮市教育委員会教育長 石 黒 貢

提 案 理 由 歳入歳出予算の過不足を見込み、平成30年度八潮市一般会計補正予算案として八潮市長に要求するため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○加藤教育長職務代理者

株式会社シバ工芸様から寄附金をいただいて、それを小学校・中学校ともに教材購入費に充てるとのことですが、実際にどのようなものを購入するのですか。

●関根教育総務課長

各小中学校に1台ずつ、50インチのモニター用のキャスター付きテレビの購入を予定しています。

●井上学校教育部長

校長会長を通じて何が必要かを確認したところ、現在ICTが普及し大型テレビが各学校にあります、授業での活用が活発になり、現在の台数では不足しがちで取り合いになっているという状況であるということを知りましたので、モニター用テレビを購入することにしました。

○石黒教育長

株式会社シバ工芸様からは、昨年度100万円の寄附をいただき、これは潮止中の図書購入費に充ててくださいとのことでしたが、今回はお役に立てればということで、用途の指定はございませんでしたので、校長会長に確認し、大型のモニター用テレビの購入費用に充てることになりました。

○中川委員

「語学指導助手派遣委託料」について、人数と具体的にどのようなことをするのか教えてください。

●猪原指導課長兼小中一貫教育推進室長

語学指導助手はALTのことを指しますが、プロポーザルにより業者を選定し、契約をして4月当初から実施します。ALTは6名で、1名は小学校のみを回り、残りの5名のうち2名は小学校・中学校を回ります。中学校には毎日1名はALTが配置されるようにし、ALTがどの学年でどのような授業を行うかについては各学校で対応しています。小学校は1～2年生が月に1回程度、3～4年生は2週間に1回程度、5～6年生では週に1回程度、授業に携わるようにします。

○高橋委員

和井田家住宅に設置されている防災設備の修理について、実際にどのような修理をするのか、また、現在はどのような防災設備が設置されているのか教えてください。

●岸本文化財保護課長兼資料館長

和井田家住宅の防災設備は、平成21年度に国庫補助事業として設置したも

ので、火災報知設備・消火栓設備・放水銃等を備え、大規模災害で全てのライフラインが途絶した状況でも一定時間の消火が可能な設計となっています。

しかし、8月31日に発生した近隣の落雷により多量の電流が設備に通電したことで、火災報知設備、消火栓設備に故障が生じました。火災報知設備として煙式感知器4台、分布型（空気）感知器2台、消火栓設備として、新母屋から操作ができる遠隔操作盤1台、ポンプ室の制御盤1台等が動作不能となっています。現在、緊急時に素早い対応ができない状態にあるため、早急な修繕が必要となっています。

国庫補助事業として設置した設備でもあり、修理について県文化資源課と協議を行った結果、本年度中に県費補助事業として着手する目途が立ったため、文化財県費補助事業に対する市負担分の補助金額を補正要求するものです。負担割合は総事業費の2分の1が県、市及び所有者が各4分の1となります。

○石黒教育長

「教職員胃集団検診委託料」が減額され、受診率が低いようです。ある程度年齢が高くなると人間ドックで検査しますが、予算からすると半分も受診していないようです。若い人は受けない傾向にあるかと思いますが、現状を説明してください。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

学校保健安全法施行規則第13条では40歳以上は胃の検診が受診項目とされていますが、近年若い人も胃がんになり患する方が増えていますので、本市では平成28年頃から年齢条件を撤廃し、全ての教職員が受診できるように予算を確保しています。しかし、人間ドックで受診する方や、公務により受診できない方もいます。なお、公務により受診できない方はこれから年度末にかけて「教職員健康診断委託料」の中で対応することとなります。このことから、受診しなかった方の分の「教職員胃集団検診委託料」を請負残として減額するものです。

○石黒教育長

予算を確保していてもこれだけ余っている現状についても含め、できるだけ

受けるように校長連絡協議会で伝えた方が良くかもしれません。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

[議案第52号については教育長が当事者となるため、教育長は退室する。]

議案第52号 [説明者 井上教育総務部副部長兼社会教育課長]

議会提出議案に係る意見聴取について

市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について、教育委員会の意見を求める。

平成30年11月28日提出

八潮市教育委員会教育長 石 黒 貢

提 案 理 由 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、八潮市長から「市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例」に対する意見を求められたので、この案を提出するものである。

【資料説明】

●井上教育総務部副部長兼社会教育課長

この条例改正については、12月の市議会定例会に追加議案として提出する予定となっていますが、現在国会に提出されている一般職の職員の給与に関する法律の改正法案の成立によっては、市議会への提案時期が変更となることもあります。

[質 疑]

な し

[教育長職務代理者が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。

教育長が入室する。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●香山教育総務部長

(1) 平成30年第4回八潮市議会定例会会期及び日程について

【資料説明】

平成30年第4回八潮市議会定例会は12月3日から20日までで、12月11日に本会議・総括質疑、12日が総務文教常任委員会、17日から19日までが一般質問、20日に採決という予定となっています。

なお、12月4日が一般質問の通告締切日となっていますので、後日、皆様に質問事項をお知らせします。

(2) 平成30年10月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

【資料説明】

「市民の声ボックス」10月分の投書について市全体で20件でしたが、このうち教育委員会への投書はありませんでした。

(3) その他

その他として、空調設備・エアコン設置の進捗状況について報告します。

10月26日開催の臨時議会において、「小中学校空調機器使用料」の債務負担行為の補正予算が可決・成立し、現在、業者選定のための準備を進めているところです。

昨日（11月27日）が業者のプロポーザル参加の締切日でしたが、2社の申込みがありました。今後、参加資格書類を確認し、12月25日にプレゼンテーション審査を行い、1月7日までに契約を締結する予定としています。その後、業者と工事スケジュール等について協議し、1日でも早く稼働できるように努めてまいります。

なお、エアコン設置工事優先のため、学校を会場として行っている事業については工事終了まで中止あるいは縮小など、市民の皆様にご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、ご理解・ご協力をいただけるよう努めてまいります。

●井上学校教育部長

(1) 管理職選考試験について

今年度は校長試験の受験者が7名、うち中学校から1名・小学校から5名・行政職から1名が受けています。教頭試験は受験者が8名で、うち中学校から3

名・小学校から5名が受けています。結果については11月30日の臨時校長連絡協議会で校長に示す予定です。教育委員の皆様には12月14日にお知らせします。

ちなみに、昨年度の校長試験受験者は5名で合格者1名・合格率20%、教頭試験受験者は9名で合格者5名・合格率56%で、若干教頭試験の合格率が高くなっていますが、今後は段々厳しくなると聞いています。

●井上教育総務部副部長兼社会教育課長

(1)平成30年度青少年の主張大会結果について

【資料説明】

11月10日土曜日に「平成30年度青少年の主張大会」を開催したところ、資料のと通りの結果となりました。

なお、当日は409人の来場があり、教育委員の皆様をはじめ、多くの関係者の方々のご協力により大変有意義な大会となりました。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

(1)学校給食費の収納状況について

【資料説明】

平成30年度学校給食費収納状況は、11月26日現在で10月分までの集計となっています。小学校の調定額が128,912,811円に対して収入額が128,323,561円、収納率が99.54%になっています。中学校の調定額が57,741,414円に対して収入額が56,962,552円となり、収納率は98.65%です。小中学校の合計収納率は99.27%で、未納額は1,368,112円となっています。

昨年度の同時期と比べますと未納額が587,632円多い状況ですが、先月は60万円を超えていましたので、先月よりは減少しています。しかしながら未納額は依然として多い状況です。こうしたことから、井上学校教育部長とともに先日開催された教頭研究協議会に出席をし、学校との連携、保護者との交渉、また、給食費を現金集金に変えた経緯などを話し、連携、協力を依頼したところで

す。これを受けて、その後数件保護者からの集金を受け、納入した学校もあります。また、難しい案件については、一層教育委員会と学校が連携し、収納対策を強化してまいります。

(2) (仮称) 八潮市学校適正配置指針・計画策定業務委託プロポーザル選考について

今年度9月の市議会定例会において、補正予算により今年度500万円・来年度債務負担行為により1,200万円を計上し、議会で予算の承認をいただいたところです。

今年度は業者選定後、住民アンケートの実施と学校適正配置指針の素案作成を予定していて、来年度は学校教育審議会などに諮り策定します。今後適宜報告します。

(3) セレクト給食について (ご案内)

【資料説明】

例年実施しているセレクト給食(バイキング給食)のご案内です。テーマは「シグナルセレクト給食～給食の思い出を作ろう～」で、「シグナル」とは食物を信号、赤・黄・緑の3色を栄養素に見立てて「シグナルセレクト給食」と呼んでいます。

このセレクト給食の目標は「交流体験を通じて好ましい人間関係を育てる」、「食物を赤・黄・緑の3色(シグナル)とデザートに分け、それぞれのバランスを考える」、「食事のマナーを身に付ける(協力・感謝の心を育てる)」、「バランスの取れた食事を自分で選択する能力を身に付ける」、「給食の思い出づくりをする」としています。

今年度の日程は資料のとおりとなります。教育委員の皆様もセレクト給食に参加いただき、事業の様子などをご覧いただければと思います。

なお、2月19日火曜日の大曾根小学校には大山市長が出席される予定です。

(4) インフルエンザの状況について

【資料説明】

資料は11月27日までの状況となっています。既に4校・5学級でインフルエンザにより学級閉鎖となっています。インフルエンザによる学級閉鎖は、11月に入り、大原小学校から発生しています。低学年から始まり中学年、高学年に広まっているような状況です。

なお、毎週、保健所と県衛生研究所から情報が入っていますが、県内17保健所管内で医療機関を定点とした1週間当たりの受診人数を平均した値ですが、インフルエンザの最新の情報では県平均が0.72人で1.0人に満たないところですが、草加保健所は県内で第1位で、5.00人となっています。第2位は東松山保健所で1.63人、第3位は川越保健所の1.08人で、その他は全て1.00を下回っています。昨年も草加保健所管内で多い状況でした。

また、感染性胃腸炎も流行が始まっており、草加保健所では定点当たり7.25人となっており、全県での平均は6.27人となっています。特に多いのが南部保健所で16.00人、熊谷保健所で13.78人となっています。

これを受け、11月15日に草加保健所から直接「感染症発生動向調査事業週単位情報でお知らせしていますが、現在、草加保健所管内ではインフルエンザと感染性胃腸炎の発生数が埼玉県平均と比較して高くなっておりますので、ご留意の上ご対応をよろしくお願いします。」という連絡が届いています。校長会などを通じて児童生徒の手洗い・うがいの励行と睡眠などを促しながら予防に努めてまいります。

(5) 学校給食の新たな食器について

新たな食器については、現在3学期からの使用に向けて準備を進めているところですが、現物ができましたので本日持ってまいりました。

イラストは児童生徒の投票により選んだものです。

大きい器がご飯の食器になります。市のマスコットキャラクターであるハッピーこまちゃんが稲穂とご飯を持っています。内側のクローバーの線は、上の線まで入れると小学校3年生以上、下の線まで入れると小学校1～2年生となります。食育の観点で、入れる加減を調整することで一つ勉強になると思います。

小判皿はおかずが入るもので、ハッピーこまちゃんがおむすびを食べ、周りにトマト、ブロッコリーなどの野菜が描かれています。小判皿はピンクとアイボリーの2色があり、小学校1～3年生はピンク、小学校4年生以上はアイボリーを使用します。盛り付ける量が違ってきますので、分けができるようにしています。

汁椀はピンクです。色は教育委員会定例会で決定したものです。

なお、子どもたちが絵をスプーンなどでこすると塗料が取れてしまうのではないかと心配されるかもしれませんが、これらの食器は二重構造になっていて、例えばアイボリーの食器はアイボリーのPEN食器と透明のPEN食器の間にイラストが描かれています。見えているイラストは透明のPEN食器の奥にありますので、色は落ちません。

● 関根教育総務課長

(1) 新入学準備費の支給について

【資料説明】

今年度から、来年4月に中学校に入学予定の児童がいるご家庭で、11月1日時点で就学援助準要保護に認定されている小学6年生の児童の保護者に対し、中学校の制服購入等に使用していただくため、今年度就学援助費第2回目の支給日である12月14日に新入学準備費として47,400円を支給します。

また、12月から来年3月までに新たに準要保護の認定を受けた小学6年生の保護者に対しては第3回目の支給日である3月8日の支給を予定しています。なお、11月1日現在における対象者は86名です。

(2) 潮止中学校校舎増築工事の状況について

4月の教育委員会でご報告した潮止中学校の普通教室等の増築工事ですが、教室棟についてはプレハブの設置が終了し、現在、内装工事を行っています。

また、駐輪場、渡り廊下棟、体育器具庫についても予定どおりに進んでおり、契約期間は来年1月31日までで、天候などの関係もありますが、順調に進めば12月中に増築工事が完了する予定です。

なお、1月は消防関係の検査などを実施後、完了検査を行うこととなります。

●岸本文化財保護課長兼資料館長

(1) 資料館体験講座「もちつき体験」について

【資料説明】

早いもので、今年も残すところ1ヶ月余りとなりましたが、新たな年を迎えるに当たって、年神様へのお供え物の餅つきを古民家で行い、新年を迎えることに対して、昔から人々がどのような思いを抱いてきたかを考えていきたいと思えます。

●猪原指導課長兼小中一貫教育推進室長

(1) 平成30年度10・11月事件・事故報告について

【資料説明】

事件・事故について数件発生しましたが、大きな事件等には至っていません。

(2) 全国学力・学習状況調査について

【資料説明】

考査において「全ての教科において問題文を正確に読み取ることができない」子どもたちが多いという点が大きな問題であると捉えています。算数にしても、今は穴埋め式の問題ではなく、生活に関する様々な問題を読み込んで最終的に算数的な考えや式が必要になります。式を知っているだけでは解答できません。子どもたちの状況として全てではありませんが、問題を読み取れず、何を聞かれているかが分からないので解答できない子もいるということで、国語を含めた全ての教科の中で意識して子どもたちを指導していかなければならないと考えています。

来年度の予定も出ていますが、中学校では全国学力・学習状況調査に英語が加わります。今後の小学校の英語の教科化に伴って中学校で実施されるものです。

埼玉県内の順位が出ていますが、順位だけにとらわれるのではなく、一つひとつの授業を一人ひとりの先生がしっかり行うことが、結果的に子どもたちに身に付けてもらいたい力を身に付けることにつながると考えていますので、引き

続き「八潮スタンダード」を実施しながら授業改善を推進していきたいと考えています。

(3) その他

【資料説明】

① 小坂町教職員派遣研修報告について

今年度も11月12日から16日まで、秋田県小坂町立小坂小学校・中学校に教職員を派遣しました。多くの先生が実際に小坂町の授業を見て勉強になったという話をしています。実際に小坂町で授業もしてきています。また、懇親会等も開催していただき、今後も教員同士で連絡を取りながら一緒に頑張っていくということで、更に深い絆を築けたと思います。

なお、秋田の地方新聞に関連記事が掲載されました。

② 小中一貫教育全国サミット発表報告について

今年度も小中一貫教育全国サミットが開催され、11月9日から10日に岩手県大槌町で発表してきました。今回は小中一貫教育の中の「八潮スタンダード」という手段を使っただけでなく、授業改善に特化してプレゼンテーションを行いました。施設分離型などのハード面もありますが、本市では小中一貫教育の中の教育課程を考えた授業改善ということで、参加された多くの県や市町の方々からはどういう過程で今の状況となっているのかという質問をいただきました。担当からは「すぐにできたわけではなく先輩方からスタートした一つひとつの積み重ねの中で今がある」と回答したと報告を受けています。サミット終了後、市に戻ってきましたら、早速資料の請求や質問があり、年明けには札幌市の方が視察にお見えになる予定です。

③ 北九州市小中一貫教育視察報告について

10月26日に北九州市の教育委員会の方々からの視察がありました。施設分離型での小中一貫教育の進め方についてご紹介しました。

④ 子どもの活躍について

1点目、小・中学校の音楽会についてですが、柳之宮小学校の6年生が器

楽演奏で、東部地区で1校選ばれましたので、県大会に出場します。

2点目、税の作文コンクールで潮止中学校3年の川田さんが関東信越国税局長賞という上位の賞を受賞し、埼玉新聞に掲載されました。11月14日に1日越谷税務署長に任命され、その様子も新聞記事に掲載されています。

3点目、毎年実施している市内特別支援学級の児童生徒の作品を展示する「なかよし作品展」が12月7日から12日まで楽習館で開催されます。

4点目、先日の八潮市総合防災訓練に「第1期八潮こども防災マイスター」26人のうち15人の子どもたちが参加しました。子どもたちは一所懸命に頑張っていて、終わった後に感想を聞いてみましたが、大学で学んできたことが生かして良かったという子、また、2か月弱経って忘れてしまっているという子もいました。今後の課題として、講習を受けた子どもたちも更にブラッシュアップさせる講習を今度は市で実施する必要があるという話をしました。

【 教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑 】

○加藤教育長職務代理者

毎年、防災訓練に消防団員・女性消防団員も出席をしますが、今年は参加者が非常に多かったと思います。防災マイスターの子どもたちが参加しているからかと思いますが、かなり大勢の地域の方が参加して今回は時間が足りないくらいでした。忘れてしまうのは仕方ないと思いますが、初めてだったので緊張もして難しかったのかと思います。消防団も助かったと思います。

○木下委員

潮止中で増築中のプレハブ校舎に関係した話ですが、他の教育委員は普段プレハブ校舎を見に行く機会がないと思うので、機会があったら是非、見学させてほしいと思います。

現在中学1年生で、大瀬小に通っていた子どもたちは、4年生から6年生までをプレハブ校舎で過ごしていました。教室の場所を移動せずに3年間、渡り廊下を通った先の人の通りが少ないプレハブ校舎にいと、その子たちは3年間、他

とは違った空間を過ごしていた気がします。その子供たちはその空間で育ったことが良いか、悪いかは正直判断できませんが、小学6年生は同じ校舎の最上階にいて最高学年だという意識を持ちながら生活できると良いと思います。プレハブ校舎の使い方を各学校の校長先生をはじめ先生方に話し合いをしていただくのが重要であると思いました。是非、見学をお願いしたいと思います。

○石黒教育長

中に入れるような状況になったら委員の皆様方に見学していただきたいと思えます。

○木下委員

地域として掃除ボランティアで大瀬小のプレハブ校舎に入りましたが、人の目がないので、トイレのドアが壊れていたり、物が乱雑に置かれていたりして、常に人が入る校舎であれば見られないことが、限られた空間、限られた子供たちや先生が出入りしている場所であるからか、そのような状態になってしまっているのだろうと感じました。プレハブ校舎は流れ良く、毎年変わるという使い方が良いと感じました。

○石黒教育長

校長会に伝えていきたいと思えます。

●井上学校教育部長

おそらく学級数など配置の関係があったのではないかと思います。通常は教室の場所が変わらないということはありません。「〇年生になったら上の階に行く」など、児童生徒の気持ちも新たになるので、必ず移動させています。そのときの校長先生の判断がどのような状況であったのかは把握できていません。

○石黒教育長

そのプレハブの教室に違う学年を入れるとなったときに、5学級あると1学級だけは離れた場所になってしまいます。学級数が関係していたのかもしれませんが。その学年で1学級だけが他の場所になってしまうのが一番困ります。校長会で話題にしたいと思えます。

○加藤教育長職務代理者

新入学準備費について、11月1日現在で86名が対象になっていますが、これは多いのでしょうか。

●関根教育総務課長

傾向として、毎年度就学援助を受ける児童の率はほぼ横ばいで推移しています。近隣市と比べた場合、就学援助を受けている率は、吉川市は本市より低く、越谷市・草加市などは本市より高い状況です。

○石黒教育長

人口は増えていますが、児童生徒数にそれほど変化はありませんね。

●関根教育総務課長

全児童生徒数のうち就学援助を受けている児童生徒の率もほぼ横ばいです。小学生は10%前後で推移しています。

○中川委員

「青少年の主張大会」での最優秀賞受賞者は2億6,400万人が世界で学校に行っていない人数だと言っていて、日本にいる中で普通に勉強できる環境で、子どもながらに今からそういう子たちに将来教えたい・伝えたいという主張が伝わってきました。今、日常の中でも今日1日の中で分からなかった問題があると悔しくて泣くまで勉強するという思いが大人の私たちにも響き、皆がそういった意識で成長すると吸収が変わるのかなと感じました。感動しただけではなく、児童生徒も先生も保護者も全ての人が考えさせられる内容であったと思いました。これからいろいろな国の子どもたちが入ってきて、ここにはない環境があるということを自分の口で伝えていくことが如何に大切なことか、この先影響を与えることがあるだろうと感じました。

また、学力・学習状況調査では「全ての教科において問題文を正確に読み取ることができない」とありましたが、何ヶ月か前に『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』という本を読んだときに大変分かりやすく、今、大事なのは子どもたちが如何に内容を正確に把握することができるかであると分かりました。

ただ単にテストの点数を上げるために暗記をする勉強法では、それこそコンピュータにセットされたらAIに勝てるわけがありません。深く追及してものを考えさせることは、「八潮スタンダード」で先生たちが頑張っていることと思いますが、先日教育委員に配られた『教育最前線』を見たところ、先述の本が題材に載っていました。数年前に「リーディングスキルテスト」というものが教育のための科学研究所から出ていて、それを埼玉県戸田市では実践されているとのこと。八潮市も小中一貫教育と「八潮スタンダード」で授業のレベルアップを図っていますが、より深く教科書の内容を読めているかの判断として、「リーディングスキルテスト」のようなことを「八潮スタンダード」に取り入れることを意識付けると、少し変わるのではないかと感じました。「リーディングスキルテスト」は大変費用がかかるようですが、この著書を読んだ段階では率先して実施するところには今は無料で提供しているとありました。埼玉県内なので、先生方は「リーディングスキルテスト」のことを知っているかと思います。

●猪原指導課長兼小中一貫教育推進室長

「リーディングスキルテスト」に関しては知っておりまして、そのようなことも大事だと思います。より効率的にできることは何かないか研究しなければなりません。その一つの方法として「リーディングスキルテスト」があり、有効であるとは思っています。ただ、それが八潮の子どもたちに対応できるか、そのような点は研究していかなければならないと思います。基本的には聞いて・書いてという「読み書き」ですが、それを測る指針になりますので、考えていく価値はあるかと思います。

○中川委員

ICTが進んでいるので、モニター用のテレビが取り合いになっているようですが、大型画面を使って授業を行うと効率が良くなるなど、視覚から入ることで分かりやすい授業ができるかと思います。予算の関係で全てに設置することはできないのでしょうか。

●関根教育総務課長

これまで小中学校校長会から要望をいただき、平成28年度から校長会要望分として、別途予算措置しております。過去の実績で平成28年度は小学校各校に楽器代として38万円ずつ配当し、29年度は小学校各校に楽器代として50万円ずつ、中学校には100万円ずつを配当しました。30年度は小学校の楽器はだいぶ揃ってきたので、ICT教育に使えるもの又は運動会等に使用する放送設備に各校50万円、中学校はまだ楽器が足りないということで各校140万円を配当しました。

来年度の予算についても校長会から要望をいただいております。小学校では、展開図や図形などの学習では頭の中で図形を思い描くのが苦手な児童がいるので、効果的な指導方法が必要となります。その際使用するテレビの台数が少なく、移動も教員の負担が大きく時間を要することからテレビを購入してほしいという要望をいただいております。テレビを購入すれば、展開図の学習において立方体が画面に映し出され、少しずつコマ送りしていくと側面が開いて展開図ができあがる過程が理解できるなど、デジタル教材は児童の思考を支援して分かりやすく学ぶことができるという特徴があるので、是非購入してほしいとの要望をいただいております。先週、財政課とヒアリングを行い、小学校についてはテレビを各校3台から4台分の予算措置をお願いしました。中学校については、楽器の購入のために各校100万円をお願いしています。

○高橋委員

今年も1学期、2学期と過ぎ、あまり子どもたちのいじめや不登校など大きな話題がこの会議の中であがってきていませんが、現状ではちょっとしたいじめのようなことはあり、不登校になっている子どももいるようです。学校でそれぞれ対応していて解決をしていれば良いのですが、実際にそうでないものもおそらくいくつかの事象はあると思いますので、現状で把握しているものがあれば定例会の中で教えていただきたいと思います。

●猪原指導課長兼小中一貫教育推進室長

いじめや不登校は毎年計上されていて、学期に1回、各学校から報告書が提出

され、教育委員会で集約しています。それらをまとめていくと結果的には昨年度と同じくらいの件数があります。その内容も非常に重く受け止めています。いじめでいえば重大事態でなくても、今後重大事態につながるのではないかなどアンテナを高くして、ただ件数が報告されてそれで終わりではなく、それを学校に対し詳しくここを教えてくださいなどと聞いて対応をしています。直接保護者から教育委員会に連絡もありますが、実際に子どもや保護者に指導できるのは学校であり、学校が最も信頼される状態になればならないと思います。基本的には学校に戻しています。学校が対応して、それをまた報告してもらうという形で学校と連携をしています。件数的には変わりませんが、様々な保護者が増えているのは事実です。その保護者への対応を学校はどのようにしていくか相談を受けますが、忘れてはいけないのは子どもがいることであり、子どもにとってどうなのかを判断して対応しています。

○高橋委員

地域やブロックなどによっては人数の差はありますか。

●猪原指導課長兼小中一貫教育推進室長

あまりありません。

○石黒教育長

不登校やいじめの件数が教育委員の皆様の目に触れていないことかと思えます。毎月でなくても学期ごとの人数を定期的に報告するようにしてください。

●猪原指導課長兼小中一貫教育推進室長

不登校・いじめ・暴力行為の3つで学期に1回集約をしています。7月・12月・3月で合わせると1年間分が集約されます。その都度、報告します。

○高橋委員

大変ありがたいです。そのような事前情報をもらえると何かとやれることがあるのではないかと思います。

○石黒教育長

「青少年の主張大会」について、先日、保護司の方から電話がありました。草

加八潮保護司会の会長は草加市の方ですが、当日来場されていて、終わってから
「素晴らしいのは、司会が高校生・中学生・小学生で、こういった役割分担で毎年実施していることは草加市では考えられない。全て大人がやってしまう。他を見ると比較ができます。内容的なものを含めて運営面も素晴らしい。」という話をいただきました。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。

次回開催日程

平成30年第12回定例会 平成30年12月26日(水) 午前9時30分

会議録作成責任者.....

会議録作成者.....

会議録作成者.....

上記会議録に相違ないことを出席者全員ここに署名する。

八潮市教育委員会

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員